

SoftBank 403ZT

お願いとご注意

このたびは、「SoftBank 403ZT」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 403ZT をご利用の前に、「クイックスタート」・「お願いとご注意（本書）」および「ユーザーガイド」をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 上記の取扱説明書は、ソフトバンクモバイルホームページ（http://mb.softbank.jp/biz/r/support/403zt）からご確認ください。
- 本機は法人専用機種であり、管理者による機能制御が可能です。機能制御の内容によっては、本紙記載の設定や操作が行えない場合があります。

SoftBank 403ZTは、4G／LTE／3G方式に対応しております。

SoftBank 4Gは、第3.5世代移動通信システム以上の技術に対しても4Gの呼称を認めるという国際電気通信連合（ITU）の声明に基づきサービス名称として使用しています。

ご注意

- ・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- ・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- ・本書で記載している画面表示は、実際の表示と異なる場合があります。
- ・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

安全のために

こんな使いかたはやめましょう。

- 分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。
- 落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
故障などの原因となります。
- 本機を加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
故障などの原因となります。
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。
機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。
- 本機を長時間ご使用になる場合など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

マナーを守ろう！

安全のために使用が禁止されています。

- 航空機内では本機を使用しないでください。運航の安全に支障をきたす恐れがあります（航空機内で本機を使用できるときは、航空会社の指示に従い、適切にご使用ください）。
- 病院、研究所など本機の使用が禁止されている場所では、使用しないでください。医療機器などに影響をおよぼす場合があります。
- 電車やバスなどの優先席近くでは使用しないでください。ペースメーカなど生命にかかわる機器に影響をおよぼすことがあります。
- ゴルフ場など野外で雷鳴が聞こえたときは、落雷の恐れがありますので、使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明	
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} 」を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} 」のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明	
次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。	
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
	分解してはいけないことを示します。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。

403ZT、USIMカード、USB延長ケーブル（ZEDAY1）の取り扱いについて（共通）

危険

本機に使用するUSB延長ケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、本機・USB延長ケーブルの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた本機を接続すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

本機を機器に取り付けたり、USB延長ケーブルを接続する際、うまく接続ができないときは、無理に行わないでください。端子の向きを確かめてから、接続を行ってください。
発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。またUSBコネクタを破損・焼損させる原因となります。

本機とUSB延長ケーブルを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
破損した状態で接続すると故障や火災の原因となります。

警告

本機・USB延長ケーブルを加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
本機・USB延長ケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、本機を使用しないでください。
ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、本機を接続した機器から取り外してください。
異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

USBコネクタに液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

長時間使用すると、本機の温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。機器に接続中は、特にご注意ください。また機器に接続中の落下は破損の原因となります。

本機をUSB延長ケーブルから取り外す際は、コードを引っ張らず、USBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、プラグの破損による火災や感電などの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。
けがなどの原因となります。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いないようおかけください。

■ ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内 ソフトバンク携帯電話から 157(無料) 一般電話から ☎ 0800-919-0157(無料)
紛失・故障受付 ソフトバンク携帯電話から 113(無料) 一般電話から ☎ 0800-919-0113(無料)

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380(有料)
東海地域	052-388-2002(有料)
関西地域	06-7669-0180(有料)
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010(有料)

■ データ通信サポート窓口

セットアップ、操作方法等についてのお問い合わせはこちら

受付時間	平日 9:00～19:00 土日祝 9:00～17:00
------	---------------------------------

ソフトバンク携帯電話から ＊5525(無料)
一般電話から 0088-21-5525(無料)
※ 海外からはご利用になれませんのでご了承ください。

■ ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失については、下記の番号へおかけください。
+81-92-687-0025(有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)

NOTICE-01

403ZTの取り扱いについて

危険

火の中に投下しないでください。
破裂・発火させるなどの原因となります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
変形した本機を使用すると、漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。ご使用の際は、本機の状態をご確認ください。

警告

ペットが本機に噛みつかないようにご注意ください。
また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。
漏液・発熱・破裂・発火・故障・火災の原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しないでください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意ください！電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに使用を中止して屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用してください。
本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

本機をズボンなどのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。
無理な力がかかると故障・けがの原因となります。

注意

不要になった本機は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（「使用材料」参照）。

注意

本機に磁気カードなどを近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本機を長時間ご使用になる場合、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

USIMカードの取り扱いについて

注意

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。
指定以外のカードを使用すると、データの消失、故障の原因となります。

USB延長ケーブル（ZEDAY1）の取り扱いについて

警告

使用中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

万一、水やベットの尿などの液体が入った場合は、ただちにUSB延長ケーブルを機器から抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

USBプラグにほりがついたときは、USB延長ケーブルを持ってUSBプラグを機器から抜き、乾いた布でふき取ってください。
火災の原因となります。

使用しない場合は、USB延長ケーブルを持ってUSBプラグを機器から抜いてください。
プラグを挿したまま放置し、端子に異物や液体が付着したり、端子を踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。

注意

本機からUSB延長ケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、USBプラグを持って取り外してください。
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

USB延長ケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づいたりしないでください。
感電・発熱・発火の原因となります。

USB延長ケーブルが傷んだり、機器との差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成26年8月〕）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・ 医療機関内での端末の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- ・ 手術室、集中治療室（ICU）などでは、本機を機器から取り外してください。
- ・ 病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、本機を使用しないでください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- SoftBank 4Gサービスは、専用機種以外は利用できません。
- 本機並びにユーティリティソフトウェアには、あらかじめ定額プランに対応した接続先が設定されています（初期出荷状態）。該当の接続先は当社ネットワークにて帯域の制御を行います。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いいたします。
 - 誤った使いかたをしたとき
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
 - 動作中に使用を中止したとき
 - 故障したり、修理に出したとき
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用するUSIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。
- 長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。

お取り扱いについて

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本機は防水仕様ではありません。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

知的財産権について

- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2015 ZTE Corporation. All rights reserved.
- Microsoft[®]、Windows[®]、Internet Explorer、Windows Vista[®]は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
- TM and © 2015 Apple Inc. All rights reserved.
- Apple、Appleのロゴ、Mac、Macintoshは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【403ZT】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合のSARの最大値は1.39W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARIに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から0.5センチ以上離してご使用ください。このことにより、この製品は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

SARIについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページhttp://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
- 一般社団法人電波産業会のホームページhttp://www.arib-emf.org/index02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、**欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準**を掲載しています。詳細は「**欧州における電波ばく露の影響に関する情報**」「**米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報**」をご参照ください。

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この製品【403ZT】は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。この製品から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本書に記述する所定の方法（※※3）で使用したSARの最高値は1.52W/kgです。

「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って人体の近くでご使用になる場合は1.33W/kgです。

人体の近くでご使用になる場合：

この製品【403ZT】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から0.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から0.5センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ヘルムクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。FCC Radio Frequency Safety（英文のみ）http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）

http://www.who.int/emf

SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら

http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product [403ZT] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.39 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Use close to the body****

To use this product close to the body, maintain a separation of 0.5 cm **with no metal (parts) between it and the body**. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)http://www.arib-emf.org/index02.html（Japanese）

This product [403ZT] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide****. In this case, the highest tested SAR value is 1.52 W/kg*.
* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.33 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 0.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 0.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID SRQ-MF860E. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization

http://www.who.int/emf

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model

http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/（Japanese）

PINコード設定

PIN(Personal Identification Number)は、不正ユーザーがUSIMカードを利用することを防ぐために使われるコードです。

お買い上げ時のUSIMカードは、PINコード認証なし、PINコードは「9999」に設定されています。

PINコードの設定／変更方法については、ユーザーガイドを参照してください。

使用材料

使用箇所	使用材料／表面処理
本体：外装ケース（表面）	PC／PU塗装
本体：外装ケース（裏面）	PC／UV塗装
本体：USIMカバー	PC／PU塗装
本体：USIMスロット	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
本体：USBプラグ	PC／UV塗装
本体：USBコネクタ	ステンレス鋼
本体：ライト	PC
USB延長ケーブル（オプション品）：外装	TPE
USB延長ケーブル（オプション品）：USBコネクタ	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合、お問い合わせ先または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本機に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先までご連絡ください。

発売元 ソフトバンクモバイル株式会社

製造元 ZTEコーポレーション

2015年4月　第2版